



公明党  
ながお くにただ  
永尾 邦忠 議員

## 島原鉄道の今後、跡地活用による自転車道、「ミニユニティバス」たしる号

**Q** 島鉄。①乗客数の推移②経営状況（鉄道部門）③利用状況に関して。

**A** ①直近10年間で、H25年度の15万3千人がピーク、R3年度は10万3千人。②赤字が拡大、厳しい状況。③人口減少、少子高齢化やスクールバス運行の充実等、社会的背景が利用者減少に大きく影響。

**Q** 存続か廃線か、公共交通機関の必要性等、議論を先送りせず早急に。

**A** 県、諫早市、半島3市で鉄道存続の危機意識を共有し協議中。いろんな角度から国、県とも話し合う。

**Q** 鉄道存続を求めているが、廃線の場合、観光や市民への影響は。

**A** 代替バスの運行が運転手不足等の中では困難になると推測。また交流人口の減少も危惧する。単に移動手段がなくなるだけではなく、まちのにぎわい等にも影響する。

**Q** たしる号。①利用状況②コロナ対応臨時交付金の活用を③維持するために国への要望を。（財政支援等）

**A** ①昨年10月に運行方法を見直して以来、月平均約3300人利用。②車両とAI予約システム導入の際に活用した。交付金が継続されれば車両等の導入の際に活用を検討。③機会を見て国等へ要望している。

**Q** 跡地活用による自転車道整備。①進捗状況②先行策として本市独自の自転車観光ルートを。

**A** ①旧秩父が浦駅ー水無川間、総事業費は約5億3千万円、事業期間はR4～8年度を予定。県サイクルツーリズム推進協議会島原半島地域部会では、長期的なルートとして旧秩父が浦駅ー島原港駅間の整備方針を決定。跡地の無償譲渡については島鉄と協議中。②新たな観光コンテンツとして造成し、観光消費額の増加につなげる。

**Q** 島原港駅から旧秩父が浦駅までは、鉄道を復活させてはどうか。

**A** 相当数の利用が見込めない限り厳しい状況。

### 【その他の質問項目】

◇新型コロナウイルス感染症  
◇市民の声をお尋ねします



バラの会  
まつさか まさお  
松坂 昌應 議員

## 歩行者に優しい島原へ

**Q** お堀の周り、外側の歩道はT字路のたびに道を横切る状態。どのように整備するか。

**A** おっしゃるとおり。歩道が外側、内側バラバラなので何度か道路を横断しなければ一周できない。桜並木の風情を味わい、お堀の中ものぞくことができるよう内側に歩道を集約したい。

**Q** 島原城本来の姿である「廊下橋」の再現はできないか。

**A** 国の文化財指定を受ける方針の中で、将来的に元の形に戻す意味で、正当性はあると思う。

## 気軽に對話のできる職場環境とコンプライアンス

**Q** 上司の言うことを聞かなければ公務員法違反か。

**A** 地方公務員法第32条では、法令・条例・規則等に従い、且つ、上司の職務上の命令に従わなければならない。何でもではない。

**Q** 現在、市庁舎屋上に設置されている喫煙所は健康増進法に照らして違法ではないか。（写真）このようなものを設置するよう命ぜられた職員は困るのではないか。



**A** 原則は敷地内禁煙だが、例外要件を満たしていると考える。

**Q** その場所は「火気厳禁」の場所でもあるが、法令違反ではないか。

**A** 電気設備等があつて火気厳禁の表示をしているが、点検の電気事業者からは特段指摘は受けていない。

### 【その他の質問項目】

◇横断歩道は歩道か車道か  
◇歩車道段差標準2センチの不具合